

平成20年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	ひきこもりよりそい支援事業
事業目的	<p>通常の支援では相談関係が中断しがちな、ひきこもり状態にある精神障がい者等の個々のニーズに応じた「よりそう支援」（一緒にボランティア活動をする、勉強に付き合う）を行うことで、相談関係を継続し、社会参加の促進を図るとともに、その成果をまとめ、支援手法の普及を図る。</p>
事業概要	<p>精神障がい者への地域における支援の拠点である地域活動支援センターに「ひきこもりよりそい支援員」を配置し、従来の相談支援では関係が途切れがちであったひきこもり状態にある精神障がい者等に対し、ひきこもりネットワーク会議を構成する関係機関（保健所・市町村保健福祉教育関係部局・子ども家庭センター・若者サポートステーション等）と連携を図りつつ、通常の支援に加え「相談室での相談」の枠を越えた個別ニーズに応じたきめ細かな「よりそう支援」を行った。</p>
事業実施結果及び効果	<p>(1) 相談支援実施回数等          ①来所相談実数・・・9件                      ②来所相談延数・・・230件          ③電話相談延数・・・210件                  ④E-mail 相談延数・・・381件          ⑤訪問支援実人数・・・7件                  ⑥訪問支援延回数・・・92件          ⑦支援会議等実施回数・・・10回</p> <p>(2) 本事業で得られた支援手法等          相談支援については、面接等にてひきこもりに至った経緯や現状、日常生活について話す中で、社会経験の乏しさからくるつまずきや悩みを引き出し、本人の気持ちによりそいつつ一緒に問題を解決できるよう支援を行った。また電話相談や電話が苦手な人にはメール相談を活用した。また必要に応じて訪問支援も行った。活動としては、個別支援を中心に活動を行い、個別支援で安心、安定した環境をつくることにより、本人の居場所をつくることのできたのは大きな収穫であった。主には面接やSST（ソーシャルスキルトレーニング）を取入れた活動をおこなった。また、よりそい支援の次のステップとしてグループ活動や就労に向けて若者サポートステーション等と連携を図った。</p> <p>なお府として、本事業で得られた知見は、府のひきこもり関連事業の成果とともに手引きとして取りまとめ、市町村や関係機関へ配布し、周知した。</p>
事業主体	<p>大阪府 福祉部 障がい福祉室 地域生活支援課          〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目          TEL 06-6941-0351 (内線2457)</p>